

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
8	平成27年2月18日(水) 9:00-10:30	ビデオ講座 「腎機能低下、尿蛋白陽性についての基礎知識」	
		休憩	
9	" 10:40-11:40	VI 保健指導プログラムの基本的な考え方	山川
		本研究における保健指導プログラムの概要、全体的な流れ、介入必須条件、保健指導の各ステップや内容(初回指導、継続指導)について理解する。	
		休憩	
10	" 13:00-14:00	VII 保健指導の実施方法	野口
		受療行動促進モデルとはなにかを理解し、いくつかの事例をもとに具体的な展開イメージを理解できる。	
11	" 14:00-15:00	VIII メカニズムの理解をもとにした事例検討(事例1) 保健指導計画の立案及び保健指導展開例の提示	野口
		事例をもとに具体的な身体状態等の読み解き、保健指導計画の立案を各自及びグループで行う。その後、講師が基本的な読み解き、保健指導計画について解説する。この過程を通じて具体的な保健指導展開を学ぶ。	
		休憩	
12	15:15-16:30	IX 事例2、3	野口
		同上	
13	" 16:30-17:30	X 保健指導の実施方法	野口
		保健指導資料集を使用した具体的な保健指導の展開(高血圧、糖尿病、脂質異常症、蛋白尿)を学ぶとともに、保健指導記録表、管理台帳の使用方法について学ぶ。	
14	" 17:30-17:45	質疑応答	野口
		事例検討を通じて、展開が困難であった点の確認や保健指導に関する疑問を解決する。	
15	" 17:45-18:00	事務連絡	丸山
		事務連絡	
16	" 18:00-20:00	意見交換会	希望者全員

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。
※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料 8-1. 平成 26 年度研修会 I A (平成 27 年 3 月 6 日) 開催案内文書【介入】

平成 27 年 2 月 27 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師何名でも可（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：当方より支度いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成 27 年 3 月 6 日（金） 11:00～14:00（10:50から事務連絡）

会場：TKP 新大阪ビジネスセンター カンファレンスルーム 3A

（URL：<http://tkpshinosaka.net/>）別紙 1 地図参照

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-13-9 新大阪 MIT ビル 3F Tel 06-6879-3917

【3】研修会期間中の予定：別紙 2 時間割をご参照ください。

【4】研修会期間中の注意事項

- (1) 受付は 10 時 30 分から会場にて行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、出席簿に署名して下さい。
- (4) 情報交換会ではお弁当とお茶を用意します。
- (5) ネームカードを受付時に貸与し最終日に回収します。
- (6) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 8-2. 平成 26 年度研修会 I A (平成 27 年 3 月 6 日) 当日時間割【介入】

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 介入自治体 研究説明会
時間割
平成27年3月6日(金)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※
介入自治体におけるデータ管理ができる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※
1) 研究の意義や介入自治体の役割を理解し説明することができる
2) データ管理(収集・回収・提出)ができる

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
1	平成27年3月6日(金) 11:05-11:40	1. 研究概要と研究の意義	磯
本研究の目的や概要、評価項目、介入自治体の役割等、本研究の基本的な事項を知る。			
2	" 11:40-12:10	2. 健診・レセプトデータの流れ	西連地
健診データおよびレセプトデータの入手先およびファイル仕様、およびそれらのデータが解析されるまでの流れについて知る。			
3	" 12:10-12:40	3. 戦略研究推進室の役割と契約について	西澤
戦略研究推進室の役割と介入自治体と国立大学法人大阪大学との契約方法について知る。			
4	" 12:40-13:00	総合質疑応答	担当講師全員
健診・レセプトデータの流れ、保健指導記録関係データの流れ、データ管理方法、契約等について確認し、疑問点を解決する。			
5	" 13:00-14:00	情報交換会	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料8-1. 平成26年度研修会 I A (平成27年3月6日) 開催案内文書【対照】

平成27年2月27日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

この度は「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」へのご参加ありがとうございました。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、対照地域における保健指導プログラムの遂行およびデータ収集から固定までの管理、受療行動促進モデルによる保健指導の標準化および質の向上を図り、本研究における保健指導を高い精度で実施できるようになることとしています。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師何名でも可（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）がご参加ください。

費用：当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成27年3月6日（金）15：00～18：00（14：50から事務連絡）

会場：TKP 新大阪ビジネスセンター カンファレンスルーム4A

（URL：<http://tkpshinosaka.net/>）別紙1地図参照。

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-13-9 新大阪MTビル4F Tel.06-6879-3917

【3】研修会期間中の予定：別紙2時間割をご参照ください。

【4】研修会期間中の注意事項

- (1) 受付は14時30分から会場にて行います。
- (2) 座席表は研修会場入り口付近に掲示しますので必ず指定された場所へ着席して下さい。
- (3) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、出席簿に署名して下さい。
- (4) 情報交換会ではお弁当とお茶を用意します。
- (5) ネームカードを受付時に貸与し最終日に回収します。
- (6) 会場（後方）の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）

戦略研究推進室 担当者：丸山、西澤

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 8-2. 平成 26 年度研修会 I A (平成 27 年 3 月 6 日) 当日時間割【対照】

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成26年度 対照自治体 研究説明会
時間割
平成27年3月6日(金)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

対照自治体におけるデータ管理ができる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 研究の意義や対照自治体の役割を理解し説明することができる
- 2) データ管理(収集・回収・提出)ができる

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
1	平成27年3月6日(金) 15:05-15:40	1. 研究概要と研究の意義	磯
本研究の目的や概要、評価項目、対照自治体の役割等、本研究の基本的な事項を知る。			
2	" 15:40-16:10	2. 健診・レセプトデータの流れ	西連地
健診データおよびレセプトデータの入手先およびファイル仕様、およびそれらのデータが解析されるまでの流れについて知る。			
3	" 16:10-16:40	3. 戦略研究推進室の役割と契約について	西澤
戦略研究推進室の役割と対照自治体と国立大学法人大阪大学との契約方法について知る。			
4	" 16:40-17:00	総合質疑応答	担当講師全員
健診・レセプトデータの流れ、保健指導記録関係データの流れ、データ管理方法、契約等について確認し、疑問点を解決する。			
5	" 17:00-18:00	情報交換会	

※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したものの。

※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。

資料9-1. 平成27年度第一回中央研修会（平成27年7月18日・19日）開催案内文書

平成27年6月19日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

向夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における介入の標準化を図る（どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようにする）こととしております。

【1】参加者・参加申し込み方法等

参加者：1つの市から保健指導実務担当の保健師2名～（そのうち1名は本研究担当のリーダー的立場の方）ご参加ください。

費用：1市2名分は、当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成27年7月18日（土）10：00～12：00（会場①）
13：00～17：30（12：50から事務連絡、会場②）
7月19日（日） 9：30～16：00（会場②）

会場①：大阪大学銀杏会館 3階 大会議室

会場②：大阪大学大学院医学系研究科附属最先端医療イノベーションセンター
1階 マルチメディアホール

※別紙1. 地図参照

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2 Tel.06-6879-3917

宿泊場所：ホテルクレスト茨木

（URL：http://www.hotel-crest.co.jp/crest_ibaraki/）別紙2. 地図参照

〒567-0033 大阪府茨木市松ヶ本町1-8 TEL.072-620-2020

●お一人様シングル1泊当たり7,430円（朝食有）となります。

●19日（日）は、ホテルから大阪大学までの移動手段として、大型バスをご用意しております。ホテル宿泊者ならびに府内在住の参加者については、是非ご利用ください。JR茨木駅から阪大病院前までは近鉄バスをご利用いただけますが、休日であるため運行本数が少なくなっておりますので、なるべく大型バスにて移動していただきますようご協力のほどよろしくお願い致します。

大型バスの利用申し込みは、各自治体で利用人数を確認いただき、推進室

（senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp）まで、7月3日（金）までにご連絡ください。

乗車場所は、JR茨木駅西口周辺となります。別紙3. 地図参照

【3】 研修会期間中の予定

別紙4. 時間割をご参照ください。

【4】 研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 高血圧治療ガイドライン 2014・糖尿病治療ガイド 2012-2013・動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版・CKD 診療ガイド 2012・セミナー生活習慣病

【5】 研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は12時30分から会場にて行います。12時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。12時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なもので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」(研究実施者：国立大学法人大阪大学)

戦略研究推進室 担当者：丸山

・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913

・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料9-2. 平成27年度第一回中央研修会（平成27年7月18日・19日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成27年度 第1回中央研修会 時間割
平成27年7月18日（土）～19日（日）

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における介入の標準化(手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導の標準化)を図る

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。
- 2) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等を参考に)、保健指導に活かすことができる。
- 3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる。
- 4) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる。

平成27年7月18日(土)

時間	内容	講師
10:00-12:00	介入自治体リーダー会議 各自治体の課題についての情報共有 保健指導担当リーダーが各自治体の課題を共有し、リーダーとしての役割を強化する	各介入自治体リーダー、榎先生、野口先生、 介入サポートチームの先生方
研修開始		
13:00-13:30	開会挨拶、戦略研究の進捗状況の報告 ※中間評価の実施等 研究チームの一員として、研究の進捗状況を把握する	遠橋匡先生 (研究リーダー)
13:30-15:15	各介入自治体の現状と課題報告(21市町×5分程度) 他の介入自治体の介入進捗状況を聞き、介入精度を上げるための工夫や配慮すべきことを検討できるようにする	進行:野口敏先生(介入STRリーダー) 報告:各介入自治体リーダー
15:15-15:30	休憩	
15:30-17:00	医療の立場から見たリスク判定と治療方法 医療機関との連携や診療におけるリスク判定や治療計画について知り、継続保健指導1/2、2年度目以降の保健指導にいかす	勝谷友宏先生 (勝谷医院院長 大阪大学特任准教授)
17:00-17:30	介入データの収集に関する状況など ※介入2年目開始に際し、データの取り扱いや、匿名化ソフトの運用など データ収集(特に2年目のデータ)方法や匿名化ソフトの取扱いについて知り、今後のデータ収集にいかす	丸山哲子先生 (戦略研究推進室)

平成27年7月19日(日)

時間	内容	講師
9:30-10:00	低所得者に適応できる国保制度について 受療行動促進モデルに添った保健指導を実施するため、受療への障害・負担が経済的な理由である場合の行動のきっかけを提案できる知能を身につける	小島寿美先生 (介入STRリーダー補佐)
10:00-11:00	介入2年目の受療行動促進モデルと保健指導プログラム 継続保健指導における保健指導計画の立案と受療行動促進モデルに基づく保健指導が実施できる技術を身につける	野口敏先生
11:00-12:00	事例検討:ロールプレイを含めた実施 好事例に基づき、受療行動促進モデルに添った保健指導が実施できているか、確認し、疑問や課題を見つける	野口敏先生
12:00-12:45	昼食	
12:45-14:15	事例検討:ロールプレイを含めた実施(続き) 困難事例に基づき、受療行動促進モデルに添った保健指導が実施できているか、確認し、疑問や課題を見つける	野口敏先生
14:15-14:45	今年度の介入サポート計画について 手順に基づく介入が実施できるよう今年度の課題や必要性を確認する	野口敏先生、 介入サポートチーム先生方
14:45-15:00	休憩	
15:00-16:00	糖尿病異常の臨牀、血管障害・合併症のメカニズム 糖尿病異常が起こる機序を、基本から説明し、糖尿病やその合併症がおこってしまうメカニズム、またそのなかでの生活習慣改善ならびに薬剤治療の位置づけを知ってもらうことで、HbA1c高値者の継続介入におけるよりよい保健指導の実施と計画の立案に役立てていただく。	下村伊一部先生 (大阪大学大学院 内分治・代謝内科学教授 戦略研究推進室長)
16:00-16:20	事務連絡等	横山徹爾先生

資料10-1. 平成27年度地域別研修会（平成27年10月12日・17日・24日）開催案内文書

平成27年9月25日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。
本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における介入の標準化を図る（どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる）こととしております。

【1】費用について

費用：参加者全員について当方より支出いたします。

【2】日時・会場等

- ① 平成27年10月12日（月・祝） 10:00～16:00
中之島センター 703号室
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53
- ② 平成27年10月17日（土） 10:00～16:00
TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター 105号室
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-2-16 TG ビル本館1F
- ③ 平成27年10月24日（土） 10:00～16:00
かごしま県交流センター 大研修室2
〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町14-50

【3】研修会期間中の予定

別紙1_201510 時間割

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 高血圧治療ガイドライン 2014・糖尿病治療ガイド 2014-2015・動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版・CKD診療ガイド 2012・脂質異常症治療ガイド 2013年版・セミナー生活習慣病・保健指導資料集

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から会場にて行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (4) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (5) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (6) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (7) 会場の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

- 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」（研究実施者：国立大学法人大阪大学）
戦略研究推進室
- ・TEL：06-6879-3917 FAX：06-6879-3913
 - ・Email：senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料10-2. 平成27年度地域別研修会（平成28年10月12日・17日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成27年度地域別研修会 時間割
平成27年10月12日(月・祝)/17日(土)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

1)ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、より個別・具体的な保健指導計画を立案することができる。

2)継続保健指導においても、経年の健診結果が示している身体状態や過去の保健指導記録から得られた生活習慣やリスク因子に関連する生活背景を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。

3)受療につながらないなどの困難ケースの対応方法について考えることができる。

4)上記1)から3)について、他のスタッフに復命することができる。

開催 大阪/東京

講義内容

番号	日時	講義内容	担当講師
1	平成27年10月12日(月・祝)/17日(土) 10:00-10:10	I 開講の挨拶・趣旨説明・地域研修会の開催にあたって	磯博康先生 (研究リーダー)
		開講挨拶、研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。	
2	" 10:10-12:00	II 生活習慣改善の支援について	野口緑先生 (介入STリーダー)
		生活習慣改善に係る保健指導資料の効果的な活用方法を学ぶ。	
昼休憩			
3	" 13:00-15:50	III 事例検討(グループワーク)	野口緑先生 (介入STリーダー)
		事例検討を通じて、継続保健指導における保健指導計画の立案、展開について学ぶ。	
4	" 15:50-16:00	IV 事務連絡等	横山徹爾先生
		事務連絡	

資料10-2. 平成27年度地域別研修会（平成28年10月24日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成27年度地域別研修会 時間割
平成27年10月24日(土)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された資と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1)ヘルス・ビリーフ・モデルを基礎とした受療行動促進モデルの理論的枠組みを活用して、より個別・具体的な保健指導計画を立案することができる。
- 2)継続保健指導においても、経年の健診結果が示している身体状態や過去の保健指導記録から得られた生活習慣やリスク因子に関係する生活背景を適切に理解し、健診結果経年表・構造図を活用した保健指導を実施することができる。
- 3)受療につながらないなどの困難ケースの対応方法について考えることができる。
- 4)上記1)から3)について、他のスタッフに復命することができる。

開催 鹿児島

研修内容

番号	日時	講義内容	担当講師
1	平成27年10月24日(土) 10:00-10:10	I 開講の挨拶・趣旨説明・地域研修会の開催にあたって	磯博康先生 (研究リーダー)
		開講挨拶。研究の趣旨・目的等を理解し、研究参加における心構えを養う。	
2	" 10:10-10:30	II 生活習慣改善の支援について	野口緑先生 (介入STリーダー)
		生活習慣改善に係る保健指導資料の効果的な活用方法を学ぶ。	
3	" 10:30-11:30	III 高血圧事例を理解する	大石充先生 (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科)
		受療行動促進モデルに基づく保健指導計画が立案できるよう高血圧の病態について改めて学ぶ。	
4	" 11:30-12:15	IV 生活習慣改善の支援について	大石充先生 (鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科) 野口緑先生 (介入STリーダー)
		高血圧の困難事例の検討を通じ、高血圧事例の継続保健指導、医療との連携について学ぶ。	
昼休憩			
5	" 13:00-15:50	V 事例検討(グループワーク)	野口緑先生 (介入STリーダー)
		事例検討を通じて、継続保健指導における保健指導計画の立案、展開について学ぶ。	
6	" 15:50-16:00	VI 事務連絡等	横山徹爾先生
		事務連絡	

資料 11-1. 平成 28 年度第二回中央研修会（平成 28 年 1 月 9 日・10 日）開催案内文書

平成 27 年 12 月 18 日

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
参加自治体 担当者各位

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
研究実施者 国立大学法人大阪大学
戦略研究リーダー 磯 博康 大阪大学医学系研究科教授
戦略研究推進室長 下村 伊一郎 大阪大学医学系研究科教授

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。
本研究を効果的に実施するために、以下の予定で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

この研修会の目的は、介入地域における介入の標準化を図る（どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる）こととしています。

【1】費用等について

※参加者のうち 1 名は、本研究担当のリーダー的立場の方がご参加ください。
介入市の保健指導に従事される方に、出来るだけ多くご参加いただければと考えております。
ので、旅費につきましては、**最大 10 名分は大阪大学で費用負担が可能で、その人数を超える参加者分につきましては、推進室へご連絡下さい。**
また既に委託費にて旅費の予算枠を取っていただいている場合はご連絡ください。
よろしくお願いたします。

【2】日時・会場等

日時：平成 28 年 1 月 9 日（土）10:00～18:00
平成 28 年 1 月 10 日（日） 9:30～16:00
会場：TKP 神田駅前ビジネスセンター
（住所：〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル 5F）

【3】研修会期間中の予定

別紙 1_201601 時間割 ※現在最終調整中です。でき次第お送りいたします。

【4】研修会当日持参するもの

- (1) 筆記用具
- (2) 電卓
- (3) 高血圧治療ガイドライン 2014・糖尿病治療ガイド 2014-2015・動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年版・CKD 診療ガイド 2012・脂質異常症治療ガイド 2013 年版・セミナー生活習慣病・保健指導資料集

【5】研修会期間中の注意事項

- (1) 初日の受付は9時30分から会場にて行います。9時45分までに受付を済ませ研修会場へ入室して下さい。9時50分から研修中の事務連絡を行います。
- (2) 研修用の教材等については、随時、研修会場で配付します。
- (3) 出席簿については、研修への出席状況確認のため必要なので、毎朝出席簿に署名して下さい。
- (4) 昼食はお弁当とお茶を用意します。
- (5) ネームカードを研修初日に貸与し最終日に回収します。
- (6) 会場の空きスペースを荷物置き場としてご利用ください。

【お問い合わせ先】

- 「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」(研究実施者：国立大学法人大阪大学)
戦略研究推進室
- TEL : 06-6879-3917 FAX : 06-6879-3913
 - Email : senryaku_new@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

資料 1 1 - 2. 平成 28 年度第二回中央研修会（平成 28 年 1 月 9 日・10 日）当日時間割

生活習慣病重症化予防のための戦略研究 平成27年度第2回中央研修会 時間割
平成28年1月9日(土)～10日(日)

一般目標 (General Instructional Objectives: GIO)※

介入地域における保健指導プログラムを、本研究で求められる標準化された質と手順で実施できる。

到達目標 (Specific Behavioral Objectives: SBOs)※

- 1) 本戦略研究の意義、目的、成果等について理解し、研究に参加する心構えを養い、これらを他のスタッフにも伝えることができる。
- 2) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。
- 3) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる。
- 4) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる。
- 5) 健診結果から、対象者の身体の代謝機序、血管障害状況を整理でき、受療行動促進モデルにそった保健指導計画が立案できる。
- 6) 管理台帳を活用し、すべての対象者を介入手順書に添って継続的に効率的に支援できる。
- 7) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる。

講義内容

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
	13:00-13:05	研修中の事務連絡	横山
1	平成28年1月9日(土) 13:05-14:30	開講の挨拶・研究の進捗状況(介入状況も含めて)	磯
	研究チームの一員として、研究の進捗状況を把握する		
2	" 14:30-17:00	Ⅱ 介入の進捗状況(介入自治体からの報告)	野口
	他の介入自治体の介入進捗状況を聞き、介入精度を上げるための工夫や配慮すべきことを検討できるようにする。		
	15:30-15:40	休憩	
3	" 15:40-17:00	Ⅱ 介入の進捗状況(介入自治体からの報告)(継続)	野口
	同上		
4	" 17:00-18:00	Ⅲ 介入データの報告について(保健指導記録データ報告の注意点など)	西連地
	保健指導記録票の記入の際の留意点を確認する。		
5	" 18:00-18:10	Ⅳ 事務連絡	横山

番号	日 時	講 義 内 容	担当講師
6	平成28年1月10日(日) 9:30-10:00	V 2年度目の健診未受診者の介入に関する注意点等	小島
	2年度目の健診未受診者の介入に関する注意点等を確認する。		
7	" 10:00-12:00	VI 脂質代謝・糖代謝を理解する	帝京大学薬学部臨 床分析学教授 金子 希代子
	受療行動促進モデルに基づく保健指導計画が立案できるよう糖代謝・脂質代謝症について学ぶ。		
		休憩	
8	" 13:00-15:50	VII 保健指導の実施方法	野口
	事例検討を通じて、保健指導計画の立案、展開について学ぶ。		
9	" 15:50-16:00	事務連絡	横山
	事務連絡		
<p>※一般目標：学習終了時に期待される成果を示したもの。</p> <p>※到達目標(行動目標)：一般目標を達成したことを示す具体的で評価可能な指標で、学習者は何ができるようになるのか、学習者を主語とした動詞を含む文章で簡潔に書くもの。</p>			

資料12-1. 平成27年度第一回中央研修会（平成27年7月18日・19日）自己評価アンケート（他の研修会も一般目標・到達目標・講義／演習の内容が異なる以外は同様）

※ホッチキスははささないでください。

評価アンケート

生活習慣病重症化予防のための戦略研究
平成27年度第1回中央研修会

本戦略研究及び研修会の質の向上のために参考にさせていただきますので、評価アンケートにご協力ください。また率直なご意見やご希望なども自由にご記入下さい。

【初日】

実施日時 平成27年7月18日（土）～7月19日（日）2日間

名簿NO. _____ 氏名 _____ (NOはネームカードの氏名左横の番号)

所属市名 _____ 職名 _____

特定保健指導経験年数 _____ 年 _____ ヶ月

本研修を受講するにあたって、以下の設問にお答え下さい。

1. あなたの市において、本研究に関するあなたの役割は以下のどれですか（複数可）。

- a. リーダー（またはその補佐）
- b. 保健指導担当
- c. その他（ _____ ）

2. 本研修会の一般目標と到達目標に関する知識・技術レベルについて伺います。

あなたの現時点での知識・技術はどのレベルですか。

あてはまる記号を一つ選んで、下記の表の記号を○で囲んでください。

【一般目標】	知識・技術のレベル			
	1	2	3	4
介入地域における介入の標準化を図る。 (どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる。)	1	2	3	4
【到達目標】				
1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。	1	2	3	4
2) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる。	1	2	3	4
3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる。	1	2	3	4
4) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる。	1	2	3	4
5) 上記1) から4) について、他のスタッフに復命することができる。	1	2	3	4

【 修 了 時 】

1. 本研修会の一般目標と到達目標に関する知識・技術レベルについて伺います。

あなたの現時点での知識・技術はどのレベルですか。

あてはまる記号を一つ選んで、下記の表の記号を○で囲んでください。

【一般目標】	知識・技術のレベル			
	1. 十分にできる	2. 概ねできる	3. 少しはできる	4. できない
介入地域における介入の標準化を図る。 (どの介入地域でも高い質で手順書に基づいた保健指導プログラムの遂行、及び受療行動促進モデルに基づく保健指導をできるようになる。)	1	2	3	4
【到達目標】				
1) 保健指導の質の向上を図るうえでの課題や、保健指導プログラムを継続する上での課題の解決方法について考え取り組むことができる。	1	2	3	4
2) 介入地域の保健指導の取組み(好事例・困難事例等)を参考にし、保健指導に活かすことができる。	1	2	3	4
3) 保健指導の進捗状況や保健指導プログラム遂行に関する工夫点、問題点、評価等について情報交換・共有を図ることで、効果的な保健指導に活かすことができる。	1	2	3	4
4) 以後のプログラム遂行・データ管理に活かすことができる。	1	2	3	4
5) 上記1)から4)について、他のスタッフに復命することができる。	1	2	3	4

2. 本研修会の全体的な評価について伺います。

(1) 今回の研修全体の評価(満足度)はいかがでしたでしょうか。	[一つ選んでください]
	1. とても良かった 2. 概ね良かった 3. どちらかというと良かった 4. 良くなかった [理由をお答え下さい]
(2) 今回の研修会は、本研究におけるあなたの役割を遂行するのに役立つと思いますか。	[一つ選んでください]
	1. とても役に立つ 2. 概ね役に立つ 3. どちらかというと役に立つ 4. 役に立たない [理由をお答え下さい]

(3) 講義・演習・その他の構成はいかがでしたか？	[一つ選んでください]		
	1. とても良かった 2. 概ね良かった 3. どちらかという良かった 4. 良くなかった		
	[具体的に一つ選んでください]		
	講義の割合は、 1. 多かった 2. 良い 3. 少なかった	演習の割合は、 1. 多かった 2. 良い 3. 少なかった	その他(コメント)
	[理由をお答え下さい]		

3. 講義・演習の個別評価について（次ページ「3. 講義・演習の個別評価票」にご記入下さい。）

4. 研修会の運営についてお伺いします。

(1) 開催時期について	1. 現状で良い 2. 早い 3. 遅い ⇒ () 月頃へ変更して欲しい。 理由：
(2) 開催期間・日数について	1. 現状で良い 2. 長い 3. 短い ⇒ () 日間へ変更して欲しい。 理由：
(3) 開始・終了時間について	1. 現状で良い 2. 時間変更が必要 ⇒ 開始：(時 分) 終了：(時 分) 理由：
(4) パワーポイント等について（画質、明るさ等）	1. 良く見えた 2. 見えづかった（講義・演習名：()）
(5) 講義室の環境について（期間全体を通して）	1. 良い 2. やや良い 3. 普通 4. やや悪い 5. 悪い 理由（4. やや悪い 及び 5. 悪い の場合） ()

5. 今後、特にサポートして欲しい点についてご記入下さい。

6. その他、お気づきの点、ご意見やご希望など、ご自由にご記入下さい。

ご協力、ありがとうございました。

3. 講義・演習の個別評価票				
講義日:講義・演習名(講師)				
評 価(該当する項目の番号を記載してください)				
(1) 内容の理解	(2) 講師の教え方	(3) 講義等の資料	(4) プログラムの必要性	(5) 時間配分
1 よく理解できた 2 だいたい理解できた 3 あまり理解できなかった 4 全く理解できなかった	1 とても良かった 2 概ね良かった 3 あまり良くなかった 4 全く良くなかった	1 とてもわかりやすい 2 だいたいわかりやすい 3 ややわかりにくい 4 とてもわかりにくい	1 是非必要 2 概ね必要 3 あまり必要でない 4 全く必要でない	1 適切だった 2 時間が足りなかった 3 時間が長かった
7月18日 開催挨拶、戦略研究の進捗状況の報告(磯)				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				
7月18日 各介入自治体の現状と課題報告(報告:各介入自治体リーダー/進行:野口)				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				
7月18日 医療の立場から見たリスク判定と治療方法(勝谷)				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				
7月18日 介入データの収集に関する状況など(戦略研究推進室)				
評価(1)	評価(2)	評価(3)	評価(4)	評価(5)
(1)~(4)の中で4と記載された方は、差し支えなければその理由をお聞かせください。				
感想等				
(次ページに続く)				